

ニュース・ダイジェストNANA

1月4日(金)に市内のホテルで、平成20年那覇市新年祝賀名刺交換会が催されました。

会は、那覇市少年少女合唱団による那覇市歌斉唱で幕を開け、続いて翁長市長が「今年も風格ある那覇市を目指していきます。今年がみなさまにとって、素晴らしい年になるよう祈願します」とあいさつをしました。

その後、翁長市長と関係者で鏡開きが行われ、参加者全員で新しい年の幕開けを祝いました。



風格ある県都をめざして ～平成20年新年祝賀名刺交換会～



この泡めずらしいね ～識名園「ぶくぶく茶のお茶会」～

1月6日(日)、世界遺産で国の特別名勝に指定されている識名園で、ぶくぶく茶のお茶会が行われ、多くの来園者が沖縄独特のお茶を味わっていました。
ぶくぶく茶は、白米を煮て煮出した煎り米湯を泡立て、その泡を、さんぴん茶や玄米茶の上のせて飲む琉球王朝時代から伝わる伝統的な飲み物です。お茶会は、毎月第1土曜日と日曜日に行われており、この日も観光客や子どもたちが白い泡をめずらしそうにすすっていました。

今年1年の平穏と市民の安全を祈る、新春恒例の消防出初式が1月7日(月)、消防本部庁舎で華やかに開かれました。出初式では、消防職員や団員など参加し、地震により出火した建物から、ロープやはしご車などを使って被災者を救出する展示訓練も行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。また、式の最後に、「災害の無い一年を」の願いを込めて一斉放水が行われると、見学していた多くの市民や子どもたちから、大きな歓声と拍手がわき起こりました。



今年1年の市民の安全を誓う ～平成20年那覇市消防出初式～



感謝の気持ちを胸に大人への第一歩 ～平成20年成人式～

1月14日の成人の日を前に、1月13日(日)に市内で成人式が行われました。
今年市内15か所で式典が行われ、どの会場もあてやかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人のほか、両親や関係者など多くの人が参加し、新成人の門出を祝いました。
小緑地区の合同成人式では、新成人を代表して新崎瑛梨香さんと上江洲翔太郎さんが「家族への感謝を忘れず、自分の可能性に挑戦していきます」と決意を述べました。

アジアの窓口は アジアの漆工芸展

琉球・ミヤンマー・タイ・ヴェトナムの漆器たち

沖縄の漆器といえば、朱色地に立体的な堆錦で飾られた沖縄の花や風物を思い浮かべる方も多いかと思いますが、

しかし、そのようなイメージの漆器は近代期に入ってからで、王国時代の漆器は沈金や螺鈿をはじめ、箔絵や漆絵、密陀絵など実に多彩な技法で制作されていました。

王国の漆器の歴史は古く、今から635年前に中山王察度から中国・明朝の大祖へ沈金箱や螺鈿用の巻貝が贈られています。

漆器は王国の看板工芸。王朝文化の華々として15～16世紀に朱漆螺鈿の華やかな漆器が中国への交易記録にみえます。17世紀以降は薩摩藩を経由して、將軍や大名に武家社会の「唐風好み」の黒漆螺鈿の漆器が贈られます。王府は「貝摺奉行所」を設

置し、漆器の品質管理やデザイン指導にあたります。18世紀頃には民間工房の生産も盛んになり、王国末期には、那覇の若狭町を中心に漆器工房がありました。

1879年の王国の崩壊以降は、漆器は民間工房のみの製作となり、デザインや品質にも大きな変化が現れます。

本展では、中国皇帝に献上した漆器と同系統の国宝の尚家継承の東道盆はじめ、モダンな近代期の沖縄漆器が展示されています。

さて、貴方は琉球王国と沖縄県の漆器どちらがお好みですか？

■ギャラリートーク
2月9日(土)
午後2時～

宮里正子(那覇市歴史博物館・主幹)
パレットくもじ4階
869-5266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

“沖縄から世界へ”

I ♥ EX

<http://www.gaitame.com>

外国為替をもっと身近に

外為どっとコム

口座数
預り資産
No.1

お問い合わせセンター 携帯・PHS 0120-430-225

(月曜日 朝7:00～土曜日 朝7:00までの24時間 土・日を除く)

株式会社外為どっとコム 金融商品取引業者 登録番号:関東財務局長(金商)第262号

※2007年矢野経済研究所調べ